

# 山岳友の会会報

2019年4月 第33号



「乗鞍高原 どじょう池の残月」撮影：荻野 秀夫

## も く じ

鈴木啓助教授お疲れ様感謝の祝賀会	報告 小林 久雄	2
第41回現地研修会（乗鞍）	報告 小林 久雄	4
2019年度通常総会ならびに憧憬の森講演会	報告 小林 久雄	5
2019年度通常総会資料		6

# 鈴木啓助教授お疲れ様感謝の祝賀会報告

小林 久雄



## 鈴木啓助教授 お疲れ様感謝の祝賀会

開催日 2019年2月1日  
会場 アルモニーピアン

### 式次第

- |    |                       |   |
|----|-----------------------|---|
| 1  | 開                     | 会 |
| 2  | 略                     | 歴 |
| 3  | 祝                     | 辞 |
| 4  | 花 束 贈                 | 呈 |
| 5  | 教授より御挨拶               | 杯 |
| 6  | 乾                     | 杯 |
| 7  | 友の会の活動を振り返る (スライドショー) |   |
| 8  | 団 ら ん                 |   |
| 9  | 万                     | 歳 |
| 10 | 閉                     | 会 |

### 出席者名簿 (敬称略)

鈴木啓助	青柳 薫	赤沼 健至	栗澤 徹	市川 荘一	大江 和子	大塚 美侑
大和 博	荻野 秀夫	奥原 宰	奥原 仁作	小野 和行	加藤 銀次郎	上條 慈美
神谷 圭子	熊谷 久	小林 久雄	小山 紗莉	小山 義秀	坂井 永一	酒井 國光
坂本 孝	澤田 義幸	塩沢 乃武行	相澤 義継	杉田 浩康	高桑 芳明	高橋 和之
滝沢 義夫	竹重 聡	竹原 文子	田下 逸男	立花 裕美子	出澤 三五子	中野 尅志
中村 秋男	西 和典	西村 基志	日向 秀司	藤澤 高穂	藤原 啓司	細萱 繁
本家 保治	前田 達樹	横 拓登	松尾 正徳	松田 俊雄	村上文俊	百瀬 武
森川 優	山口 孝	山口 良子	山田 直	横田 耕太郎	吉岡 兼二	渡邊 修

『鈴木教授 お疲れ様 感謝の祝賀会』が2月1日 アルモニーピアンで開催されました。平日のお昼開催にもかかわらず55名もの皆様に参加いただき盛大に行われました。

雪氷学、水文学、山岳環境学を研究し、2度の南極観測と7大陸全てで調査研究の教授。学生さんも5名参加して、多くの山小屋のご主人たちにも出席いただきました。

山口会長や教え子の槇さんに国士館大学の佐々木准教授からご祝辞いただきましたので佐々木さんの祝辞を紹介します。

### 《佐々木准教授の祝辞》

諸先輩方を差し置いて誠に僭越とは存じますが、一言お祝いの言葉を申し上げます。

鈴木先生、このたびはご定年をお迎えになり、たいへんおめでとうございます。

また、信州の地で長きにわたって山岳研究を牽引されたこと、たいへんありがとうございました。

鈴木先生が、このたび定年を迎えられ、大学を退職されることは、たいへんおめでたいことではありますが、本当になごり惜しく、非常に寂しいものでもあります。

鈴木先生は雪氷学・水文学などの分野において、学会の顔として、長らくご活躍されております。

私は地理学が専門なので、本来ならば鈴木先生との接点はあまり無いはずでした。

私が鈴木先生に初めてお会いしたのは、私が明治大学の大学院修士課程で地理学の勉強をしていたときで、先生は東京都立大学で地理学教室の助手をされておりました。当時の私は東北の鳥海山や月山などで地形の研究を始めたばかりの、研究の世界の右も左もわからない大学院生でした。そんなときに、友の会の現地案内でもお世話になった「荻谷さん」に鈴木先生をお引き合わせいただき、3人で月山の山頂近くで気象観測を行うことになりました。



私は、もちろん何の能力も無いわけですから、そんな研究に参加するのは正直なところ「ムリだろう」とビビりまくっておりましたが、はじめてお会いした鈴木先生はたいへん気さくな先生で、心配はまったくの杞憂でした。

実際に先生と私は月山に数回登って調査を行い、ここで私は野外での気象観測のいろはを教わりました。

そのせつはたいへんお世話になり、ありがとうございました。心から感謝しております。

その後、鈴木先生は信州大学に移られ、南極での越冬観測にも行かれました。私は東北大学の大学院に進学しました。

鈴木先生が都立大学におられたときのご縁で、東北大の先生方も鈴木先生をたいへんよくご存じでしたので、鈴木先生には東北大学に2度、集中講義に来ていただき、講義を受けることができました。



このように、鈴木先生は自分の所属大学の先生ではありませんでしたが、私は折にふれご指導いただいております。

大学院を出てから、私は大学の職に就くことができなくて、大学で非常勤講師をしながら、地すべりなどの対策をするコンサルタント仕事をしておりました。そんなところに、鈴木先生がお声をかけてくださり、信州大学の山岳科学総合研究所で研究員として働かせていただくことになりました。面接で久々にお会いした鈴木先生は、以前とおかわりないばかりか、さらにパ



ワーアップしておられるように感じました。第一声は「おまえそんな身体で…本当に山に登れるんだろうな？」でした。

私はそのころ 100kg 近い体重でしたが、毎年の夏に1ヶ月ほど南アルプス南部に調査に入っておりましたので、ハッキリでもなんでもなく「ハイ、まったく問題ないです」と答えました。しかし、じっさいには信大に来てから鈴木先生と山にご一緒する際に、わたしは鈴木先生の登るスピードについて行くことはできませんでした。ハッキリでしたかねえ。

研究所では上司と部下の関係でしたが、仕事を強要されることもなく、自分のペースで仕事を進めることができました。

北アルプスを中心として、なかなか容易に行くことができない場所で研究活動を行うことができ、たいへん得がたい経験をさせていただきました。しかしながら、元来仕事が遅い私は、鈴木先生の助けには全くなっていなかったと思います。その節はご迷惑をおかけいたしました。まだ終わらせていない仕事もかかえており、ご迷惑をおかけし続けておりますこと、たいへん申し訳ございません。



まだまだ学びたいことが沢山ありますので、今後とも変わらずご指導くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、鈴木先生の今後ますますのご健康とご活躍を祈念しまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

佐々木 明彦

## 鈴木啓助教授お疲れ様感謝の祝賀会 会計報告

収入		支出	
会費	550,780	会場使用代、料理・飲物代	492,780
		記念品代	50,000
		学生手伝御礼	8,000
合 計 550,780		合 計 550,780	

※看板代16,200円花束代10,800円ならびに用紙代1,209円は友の会特別会計より支出致しました。



## 第 41 回現地研修会（乗鞍）報告

小林 久雄

突然で大変ゴメンなさい。

2月最後の土曜日 ひな祭りも近づき春の陽ざしに木々も芽吹き其処まで春が来ましたね。

講師を仁作さんにご案内していましたが・・・都合で調整

出来ずに内容を変更します。

今日は遠く岡山から大江さん、静岡からは小石ドクター、また雪の飯山から出澤さんも参加されて15名の参加です。

昨日は『はやぶさ2』のリュウグウ着陸と宇宙も賑やかな話題。「流れ星」を捕まえてとメルヘンにも想いをめぐらせながら・・・。

また、乗鞍の火山も来月から噴火警戒レベルの導入もあったりして・・・。

昨年参加いただいた時には、「持続可能な社会」を中村さんより講演いただきました。

地球温暖化など環境問題は興味が尽きませんね。

3R資源を再利用のリサイクルや空き瓶など再利用とゴミの削減の事ですが・・・関心がたかまります。

さてさてそこで、今日は DVD の紹介とお話をしてみますが・・・。

『いのちをいただく』という衝撃的な DVD もありません。視点を改めて・・・昨年4月5日に穂高岳山荘の宮田八郎さんが伊豆の海で遭難。沼津沖で5月23日に遺体が発見され、身元確認が7月5日されました。

美しい画像撮影の宮田八郎さんとは・・・衝撃的で強烈な印象の出会いと別れになりました。

八郎さんの明神の講演の DVD と初期の『光りの五線譜』上映します・・・どうぞご覧ください。

それでは、時間と楽しみの宴会の都合などで調整します。

冒頭に八郎さんの『Lama ヘリ P 関根さん』そして、2002年1月6日に鹿島槍のレスキューで逝った篠原秋彦さんの DVD の2本です。



八郎さんの初期作品、私が推薦する『光りの五線譜』を中心に愉しみにました。

いつもの宴会は小石ドクターの美味しいお魚と岡山の大江さんの黄ニラに坂井さんのスイーツやらとっても美味しくいただきました。暖かく春めいた「乗鞍」を翌日希望者がスノートレックも満喫していました。

## 2019 年度通常総会ならびに憧憬の森講演会報告

小林 久雄

二度の豪雨による涸沢談話会の延期でしたが 3 月 30 日遂に実現しました。

『北穂高小屋のあれこれ』小山義秀さんより講話いただきました。昨年 70 周年を迎えたそうです。1948 年 10 月 20 日に 10 坪の

山小屋が北穂高岳山頂に誕生しました。4 月の小屋明けの苦労話や水確保のお話しなど DVD 映像や写真を交えてのお話。戦後直後に横尾谷で製材し歩荷で柱を山頂まで運び上げ



て石積みしての建設でした。最初は圧力釜による炊飯、1956 年に現在の新館(厨房と客室)が完成。水はトタンのタンクに屋根より雨水を溜めて更に小屋上部のタンクにポンプ UP して使用。雨の直前には屋根を掃除(雑巾がけ)と苦労話が続きました。現在はポリタンクやステンレスタンクになったようです。山頂の危険な除雪作業は唯一チェーンソーによるブロック切と人力手作業だそうです。

1991 年 6 月 13 日には落雷により滝谷のピナクルが消失。

1994 年は記録的な水不足。

1998 年は上高地群発地震で稜線登山道被害。

などなど苦労話は続きました。水確保や雷対策などは今も気掛りな様子です。

40 名程の全員感動の講演会は無事終了し、その後の交流会も盛大にできました。



PS: 4 月より鈴木教授は大町山岳博物館長に就くとお話有りました。ご多忙で心配です。

次に総会資料を添付します。

なお、監査により、収支決算について適正に処理が行われていることが確認されました。

## 2018年度友の会事業報告

設立8年目の2018年度も様々な事業をほぼ計画通りに開催することができました。

以下、主な事業について報告します。

### ○総会

通常総会 4月1日(日) 松本市駅前会館 30名参加 (委任状65通)

### ○運営委員会

第13回運営委員会 3月9日(土) 神谷圭子会員宅 17名参加

### ○憧憬の森講演会

第12回憧憬の森講演会 4月1日(日) 松本駅前会館 30名参加

「信州ブランド魚」講師：降幡 充氏 (長野県水産試験場)

第13回憧憬の森講演会 12月1日(土) 松本市Mウィング 28名参加

「ずくだせテレビ」講師：長戸 文秀氏 (SBC)

### ○現地研修会

第36回現地研修会 5月21日「茅ヶ岳登山とワイン」7名参加

第37回現地研修会 6月6日-10日「欲張り!!礼文・利尻トレッキング」16名参加

第38回現地研修会 7月28日「伊吹山登山と航空宇宙博物館見学」15名参加

第39回現地研修会 8月25日「四阿山登山」8名参加

第40回現地研修会 9月8日-9日「島々谷から徳本峠を越えて明神へ」8名参加

第41回現地研修会 2月23日-24日「乗鞍研修」15名参加

○会員集会 12月1日(土) 松本市Mウィング 28名参加

○上高地・乗鞍キッズキャンプ 8月2日-3日 キッズ24名 会員スタッフ9名参加

○第25回上高地談話会 (第8回涸沢談話会) 7月5日-6日 涸沢ヒュッテ 大雨の為中止

○会報の発行 4回発行 (5月8日、9月3日、10月16日、1月7日)

○信州大学・読売新聞社共催の連続講座「岳問のすすめ」に会員随時参加

○上高地ステーションの整備を実施、随時

## 2018年度 友の会 会計報告

収入		支出	
繰越金	¥534,960 ……①	事務用品	¥108
会費	92名 3家族 7名 12口 1名 正会員(過年度) 年会費 計	DM便・郵便	¥83,782
	¥276,000	管理費 計	¥83,890 ……⑥
	¥15,000	事業費	¥2,604,005
	¥3,500	現地研修会	¥329,388
	¥120,000	キッズキャンプ	¥244,021 ※中止
	¥3,000	上高地談話会	¥3,177,414 ……⑦
	¥417,500 ……②	事業費 計	
事業費	現地研修会	会議費	総会会場使用料
	¥2,442,424		¥3,690
	¥48,000		¥5,502
	¥231,465 ※中止		¥3,270 ……⑧
	¥2,721,889 ……③		¥12,462
その他	寄附	その他	鈴木教授祝賀会看板他代
	¥5,100 ……④		¥28,209 ……⑨
収入合計 (①～④合計)	¥3,679,449 ……⑤	支出合計 (⑥～⑨合計)	¥3,301,975 ……⑩
差引残高	(⑤－⑩)		
	¥377,474		
	¥9,000 2019年度会費(正会員 3名)		
	¥386,474 3.26現在残		

## 2019年度信州大学山岳友の会事業計画（案）

### 基本方針

友の会は設立9年目を迎えますが、次の基本事項に基づき事業を計画します。

1. 信州大学の山岳研究（信州山の環境研究センター）を支援します。
2. 会員相互の親睦と、心を豊かにする講座・研修会並びに講演会を開催します。
3. 自然の中で子どもたちの豊かな感性を育てる取り組みを進めます。
4. 大学と市民を結ぶ取り組みを考えます。
5. 会員を増やし、会の活動を充実します。
6. 会報は、会員の協力をいただき4回発行します。

### 事業計画

期 日	内容等	対象者	備考（場所等）
3月30日(土)	通常総会&憧憬の森講演会 「北穂高小屋のあれこれ」 小山義秀（本会会員）	会員	松本市駅前会館
5月25日(土)～ 5月26日(日)	第42回現地研修会 「小谷温泉と山菜を知る」 －雨飾登山と温泉も愉しむ－	会員	小谷温泉 山田旅館 バスツアー
6月20日(木)～ 6月22日(土)	第43回現地研修会 「早池峰山・宮沢賢治と松島の旅」	会員	バスツアー
7月11日(木)～ 7月12日(金)	第25回上高地談話会(第8回涸沢談話会) 「滝雲と雲海」 栗澤徹（本会会員）	会員他	涸沢ヒュッテ
8月2日(金)	キッズキャンプ（デイキャンプ）	子ども	上高地日帰り
8月29日(木)～ 8月30日(金)	第44回現地研修会（大人のキャンプ） －燕から大天井－	会員	大天井荘 バスツアー
9月17日(火)～ 9月18日(水)	第45回現地研修会「御嶽山 慰霊登山」	会員	二ノ池ヒュッテ バスツアー
11月30日(土)	信州フィールド科学賞授賞式・講演会・忘年会 憧憬の森講演会「火山マイスター」 澤田義幸（本会会員）	会員	松本市駅前会館
2月22日(土)～ 2月23日(日)	第46回現地研修会 －乗鞍を愉快地に－	会員	乗鞍 ST

## 2019年度 友の会 収支予算(案)

### 収入の部

(円)

科 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減	備 考
繰越金	382,888	534,960	△ 152,072	前年度繰越金
会費	414,500	417,500	△ 3,000	正 会 員:92名           276,000 家族会員:3家族       15,000 学生会員:7名           3,500 賛助会員:12口       120,000
事業参加費	2,800,000	2,721,889	78,111	
雑費	0	5,100	△ 5,100	
計	3,597,388	3,679,449	△ 82,061	

### 支出の部

管理費	130,000	83,890	46,110	メール便等           80,000 消耗品費           50,000
事業費	2,925,000	3,177,414	△ 252,414	
会議費	20,000	12,462	7,538	総会                   10,000 講演会               10,000
雑費	647,388	28,209	619,179	
計	3,597,388	3,301,975	295,413	

友の会役員(2019-2020年度) (案)

会長	山口 孝
副会長	奥原 仁作
	<b>竹原 文子</b>
運営委員長	小林 久雄
運営委員	栗澤 徹
	神谷 圭子
	<b>熊谷 久</b>
	小林 実
	澤田 義幸
	島村 芳太郎
	立花 裕美子
	中村 秋男
	細萱 繁
	松田 俊雄
	百瀬 武
	渡邊 修
監事	藤澤 高穂
	山田 直
顧問	青柳 薫
	小林 銀一
参与	市川 荘一
	高橋 和之

信州大学山岳友の会会報 第33号

発行日：2019年4月15日

発行：信州大学山岳友の会

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

信州大学山岳友の会事務局

TEL：0263-37-3332

FAX：0263-37-2438

E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp